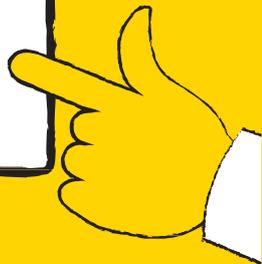


# 行動規範

# Roquette Group

日々のインテグリティ（誠実さ）  
への取り組み





**Roquette**は、植物由来原料分野の世界的なリーダーであり、新しい植物たんぱく質のパイオニアです。自然の潜在能力を引き出して、食品、栄養、健康市場に最高の原料を提供するために、**Roquette**はお客様とパートナー会社と協力して、現在と将来の社会的問題に取り組みます。

植物由来原料のそれぞれが、独自で不可欠なニーズに対応し、より健康的なライフスタイルを可能にします。

常にイノベーションを求め、長期的視野に立つことで、**Roquette**は資源や地域に配慮しながら、世界中の沢山の人の幸せを高めることに貢献しています。

**Roquette**は現在、100カ国を超える国で事業を展開し、約37億ユーロの売上げを誇り、世界中に8,670人の従業員を抱えています。

## 会長からのメッセージ



**Roquette** で日々従事する私たちは、産業と商業における過去の素晴らしい成功を今日まで受け継ぎました。この成功は、何よりもまず、エクセレンス（卓越性）とインテグリティ（誠実さ）という確固たる評価の上に築かれたものです。

この遺産を受け継ぎ、将来に向かって語り継いでいくのは私たちの使命です。

「Authenticity（真実性）」「Excellence（卓越性）」「Forward-looking（未来志向）」「Well-being（健康と幸福）」という4つの価値観は、私たちが持続可能で収益性の高い未来を築くための基盤となっています。

**Roquette** ファミリーと当社取締役会は、皆さんがこれらの価値観を実践し、この行動規範を自分のものと活動していくことを願っています。

**Roquette**社の従業員一人ひとりが、当社の評判と信頼を伝える重要な「アンバサダー」なのです。私たちは共に責任をもって行動し、世界中の数百万人という人びとの健康と幸福の向上を使命としています！

エドゥアール・ロケット（Edouard ROQUETTE）、  
Roquette Group会長

この遺産を受け継ぎ、将来に向かって語り継いでいくのは私たちの役割です。

## CEOからのご挨拶

Roquetteでは、自然がもたらす可能性を最大限に引き出し、資源、地域、コミュニティに配慮しながら、食品、栄養、健康市場に最高の食材を提供することで、現在および将来の社会的課題に取り組んでいます。私たちはRoquetteの一社員として、全世界、そしてまた多岐にわたる職種において、日常生活品をより良く、より健康的なものにすることで、人々の幸福を向上させるように努力しています。私たちは、イノベーション、進歩、パフォーマンスの源泉である多様性を尊重しています。



この目標はチャンスであると同時に、計り知れない責任でもあります。それが、私たちが社会に対して有意義な貢献をもたらす方法なのです。

私たちが誰であり、何をするのか、またその目的のためにどう振る舞うのか、その原動力となるのが倫理的な行動です。この行動規範は、当社の基本的価値観、つまり「真実性」、「卓越性」、「健康と幸福」、「未来志向」に基づいています。

行動規範には、私たちがこれらの価値観を日々どのように実践していくべきかが述べられています。当社は、強い目標意識に導かれた家族経営の企業です。私たちは真実に基づいて行動する人間として、約束を守り、常に高い透明性を持って行動します。このようにして、私たちは信頼を築き上げることができるのです。

この行動規範は、私たちが正しい決断を下し、正しい行動をとるための指針となるものです。これは、従業員および当社のために業務を行うすべての人に向けた指針であり、利害関係者に対する当社のコミットメントと期待を明確にするものです。

現代という不確実性と複雑性を増すグローバルな環境において、すべての拠点で最高水準を維持することは、これまで以上に企業にとって重要なことです。

私は、皆さんがこの規範に示された指示事項を遵守し、それを実践することを期待しています。本書をよくお読みになり、ご不明な点がございましたら遠慮なくご質問ください。この行動規範に定められている原則に反する状況や、当社の評判を脅かすような状況があれば、ぜひとも報告してください。

私はまた、会社のすべてのリーダーやマネージャーが模範的な行動をとり、オープンな環境を築きあげて、チームの懸念に耳を傾けることを期待しています。

これが私たちの成功の鍵なのです。それはまた、企業が強い倫理的価値観を推進しながらも、競争上の優位性を獲得できることを示す方法でもあります。

私たちの会社が倫理的かつ持続可能な方法で成長するのを支援していただき、感謝しています！

ピエール・クルドゥルー (Pierre COURDROUX) 、CEO

## 目次

会長からのメッセージ	3
CEOからのご挨拶	4
はじめに	6
行動規範とは？	6
この行動規範の適用対象とは？	6
誰が行動規範の履行に責任を持つのですか？	6
行動規範はどこで入手できますか？	7
どうすれば私たちは正しい決断を下していると判断できるのでしょうか？	7
行動規範に違反した場合はどうなりますか？	7
私たちの価値観	8
質問または懸念の提起	10
提起できるのはどのような懸念ですか？	10
あなたが連絡すべき相手とは？	10
法令の遵守	11
1. 雇用主としての規範 > p. 12	
健康、安全、幸福	13
多様性とインクルージョン	15
いじめおよびハラスメントの禁止	17
仕事と生活のバランス	19
企業資産の保護	21
守秘義務	23
2. 利害関係者との関係における当社の規範 > p.25	
人権と労働法	26
公正競争	28
サプライヤーおよびパートナーとの関係	30
不正行為の撲滅	32
賄賂防止と腐敗防止	34
利益相反の防止	36

贈答と接待 .....	38
財務諸表および財務報告書の正確さ .....	40
インサイダー取引および内部情報漏洩の禁止 .....	42
プライバシーとデータの保護 .....	44
スピークアップ、誠実な行動 .....	46
3. 責任ある企業市民としての規範 > p.46	
政治活動とロビー活動 .....	47
地域社会 .....	49
環境の保護 .....	51
国際販売と貿易 .....	53
参考資料 .....	55

# はじめに

## 行動規範とは？

この行動規範（以下「規範」）は、Roquetteの従業員、マネージャー、取締役、およびRoquetteのために活動する第三者が、その職務活動において遵守し、実行しなければならない指針を定めたものです。

この行動規範は、Roquetteの価値観に沿い、法令を遵守し倫理的に行動するために、とるべき行動、推進すべき振る舞い、そして避けるべき行為を定めたものです。

## この行動規範の適用対象とは？

行動規範は、世界中のすべての事業体にとって共通の基盤となるものです。適用対象：

- 全従業員、取締役およびマネージャー（以下総称して「従業員」と呼びます）
- Roquetteの代わりに業務を行う第三者：
  - 契約業者（コンサルタント、フリーランサー、臨時スタッフを含む）
  - 研修員
  - Roquette以外の事業体からの出向者
  - 非正規労働者
  - その他の代表代理人
  - 第三機関の従業員およびロケット社と販売契約のある会社（販売業者、代理店、再販業者など）の従業員。

サプライヤーや 協力会社にも、少なくとも当社と同等の基準を適用することが求められます。これらの基準は「サプライヤー行動規範」に定められています。

Roquetteが少数株主である場合、多数株主である利害関係者やオペレーターに、本規範に定められた原則が周知されるよう最善の努力を払い、同等の基準が適用されるよう継続的に努めます。

## 誰が行動規範の履行に責任を持つのですか？

当社にいる誰もが本規範に精通する必要があります。私たち全員が、本規範に記載された事業理念を遵守する責任があり、如何なる状況の下でも、私たちは倫理的な態度で行動する必要があります。

取締役とマネージャーは重要な役割を果たし、さらなる責任を負っています。取るべき行動：

- 行動規範に定められた原則をチームメンバーと話し合い、それを普及させること。
- 誰もが気軽に質問や懸念を提起できる環境および雰囲気をつくる。
- グループの価値観に沿った模範的な行動をとる
- 行動規範の実施を確認し、質問に回答する

コンプライアンス・オフィスが、行動規範の管理監督を行います。同オフィスが、リスク評価、

方針およびガイドの作成、研修の実施、質問への回答などの業務を通じ、取締役、マネージャー、従業員の実践をサポートします。

## 行動規範はどこで入手できますか？

すべての従業員およびRoquetteのために活動する第三者は、本規範に含まれる原則を理解し、遵守しなければなりません。

新入社員を含む全従業員にハードコピーで配布され、入社時のプログラムに含まれています。行動規範は、以下のサイトからもダウンロードできます：

- ONEポータル
- コーポレートウェブサイト ([www.roquette.com](http://www.roquette.com))

サプライヤー行動規範は、当社のウェブサイトおよび調達エクストラネットのページでご覧いただけます。

## どうすれば私たちは正しい決断を下していると判断できるのでしょうか？

この行動規範は、倫理的問題をもたらす可能性のある社会生活の大半の状況に対して、あなたが対処するためのガイドとして作成されています。ただし、本規範は私たちが職業的活動の実施において直面するすべての個別状況を予測することはできません。何らかの折に、とるべき行動について疑問がある場合は、以下の質問に自分で答える必要があります：

- これは法律に従っていますか？
- これはあなたや会社に良い影響を与えますか？
- 友人、家族、同僚にこのことを話しますか？
- このことが公にされても、私は安心できますか？

これらの質問への答えのいずれかが「いいえ」であれば、これ以上先に進むべきではありません。疑問がある場合は、関連する連絡先に相談してください（「質問または懸念の提起」のセクションの連絡先を参照）。

## 行動規範に違反した場合はどうなりますか？

行動規範を遵守しない場合は、当社に悪影響を及ぼす恐れがあります。その結果は、企業にとっても、関与した個人にとっても、非常に深刻なものとなる可能性があります（懲戒処分、罰金、懲役、評判の悪化など）。実際に規範への違反があった場合、またはその疑いがある場合の報告はすべて、重く受け止められます。私たちは、迅速かつ公正に、法的要件に従って調査を実施します。違反の性質に応じて、現地の会社の規則や法律に従って懲戒処分を受ける場合があります。

すべての従業員は、あらゆる調査に全面的に協力する必要があります。

Roquetteは、すべての関係者の守秘義務を守ります。

# 私たちの価値観

組織の文化は、その中核となる価値観にあります。私たちがどのような存在であり、どのように利害関係者と関わり、どのように社会に貢献するのかということを示す価値観。それらの価値観が私たちの成功の基盤なのです。



当社は、強い目標意識に導かれた家族経営の企業です。

私たちは真実に基づいて行動する人間として、約束を守り、常に高い透明性を持って行動します。なぜなら、私たち自身が消費者であり、市民であり、また愛する人を気遣う存在だからです。

私たちの価値観は私たちの成功の基盤となるものであり、地球を大切にしながら人々により良い食生活を提供し、患者を治療するという使命に不可欠なものです。このようにして私たちは全ての行動において信頼を築き上げることができるのです。

Roquetteのストーリーは、ほぼ1世紀前に始まった人々と家族の冒険なのです。

以来、数千人という男女が独自のビジョンに突き動かされ、ライフスタイルの選択、年齢、住んでいる場所、仕事内容に応じて、人々に必要な食品、栄養、健康を提供することに全力を注いできました。Roquetteには、自然の可能性を最大限に生かし、より健康的な未来づくりに貢献するために、出身地も技術も経歴も異なる様々な才能が世界中から集まっています。

Roquetteでは、すべての行動において4つの価値観を体現しています。

私たちの文化の基本：

真実性

卓越性

未来志向

健康と幸福

- **真実性**: 私たちは真実に基づいて行動する人間として、約束を守り、常に誠実かつ責任を持って行動します。これが私たちらしさです。
- **卓越性**: 私たちは日々、お客様や消費者の期待に応えられるよう、より良いサービスを提供し、さらに前進します。
- **未来志向**: 常に探求し、協力し、革新し続けるために、私たちの家族の伝統と長期的なビジョンに基づいて行動しています。これは、お客様のニーズに常に対応し、将来を予測するために非常に重要なことです。
- **健康と幸福**: 私たちは、資源、地域、コミュニティを大切にしながら、日常生活品をより良いものにすることで、幸福を向上させるように努力しています。快適で楽しい職場環境と顧客体験の醸成に努めます。

一人一人が自分の役割を果たすことで達成できます。しかし、私たちの価値観を実践し、善行へのコミットメントをあらためて表明することは、チームの努力でもありません。

私たちの消費者とお客様は、正直で誠実な事業活動を行う私たちに信頼を寄せています。信頼は私たちの最大の資産であり、日々、最高レベルの行動が求められます。

Roquetteでは、第三者であるビジネスパートナーとその従業員に対しても、私たちの事業方針の遵守を求めています。

この規範は、特に国によって法律が異なるため、あらゆる事態をカバーすることはできません。

具体的な状況が明示的に規定されていない場合、Roquette の方針とプロセス、および適用されるすべての法律を常に遵守し、常識と適切な判断力を行使することで、行動規範の精神を守る必要があります。

私たちは、各自の行動に反映させなければならないこうした価値観を広める責任を負っています。

## 質問または懸念の提起

従業員、Roquetteのために活動する第三者およびその他の利害関係者は、会社に対する危害を防止および軽減するのに役立つ疑問や懸念を、Roquetteに提起するよう奨励されます。

### 提起できるのはどのような懸念ですか？

行動規範、社内規定、または適用法に違反する可能性がある場合、または実際に違反した場合、あらゆる質問を提起することができます。

### あなたが連絡すべき相手とは？

多くの場合、直属の上司が最初の窓口となります。マネージャーは、私たちの懸念を理解し、必要であれば適切な措置を取るのに最も適した立場にいると思われる。人事部も私たちの質問に答えてくれるでしょう。

直属の上司や人事部に懸念を伝えづらい場合、または既に懸念を伝えているが適切に対処されていないと感じる場合は、下記に連絡してください：

- コンプライアンス・オフィス
- 内部監査&リスクマネジメント部門
- 秘密厳守の Roquette 通報システム：「[スピークアップ \(SpeakUp\)](#)」

懸念を共有することは勇気のいることです。Roquetteでは、行動規範または適法に違反する可能性がある、または実際に違反があった場合、誠意をもって報告した従業員または第三者に対するいかなる形の報復行為にも厳しく対処します。

## 法令の遵守

私たち一人ひとり、仕事内容や職務、勤務地を問わず、Roquetteに適用される法令を遵守することが求められます。

地域の法律がこの行動規範より厳格な場合は、その法律が優先されます。

### 私たちの考え：

- すべての新しい現地法や該当する規制を、できる限り速やかに実施する必要があります。
- 法令違反は、関与した人と会社の両方が民事的および刑事的制裁の対象となる場合があることを、認識する必要があります。

### 私たちの責任：

- すべての状況において、その国で適用されるすべての法令に従い、会社の各職場で実施されているすべての規則に従う必要があります。
- 私たちは、職務上の活動の一環として、適用される法令に違反すると思われる行為があれば、直属の上司、人事担当、コンプライアンス・オフィス、内部監査・リスクマネジメント部門、または秘密厳守のRoquette通報システムである「[スピークアップ](#)」に報告しなければなりません。



# 1 雇用主

としての規範

# 健康、安全、幸福

Roquetteでは、幸福と健康と安全を推進しています。私たちは、仕事と私生活の両面で、従業員を支援するための活動やプログラム、組織づくりを提案しています。

健康と安全、そしてコンプライアンスは、私たちがビジネスを構築していくための基盤です。私たちは、従業員、パートナー、お客様、そして消費者の健康と安全を守ることが、私たちの使命であると考えています。この分野での私たちの成果は、グローバル・リーダーとしての成果でなければなりません。健康・安全の文化をつちかうことは、当社のもうひとつの価値観である「卓越性」の理念に沿った、優れたプロフェッショナルリズムの表明です。

私たちは、事故のない職場づくりを目指します。私たちは、あらゆる怪我や職業病は予防できると考えています。

そのために、4つの基本原則が私たちの行動の指針となります：

- ・ 現地法および社内安全衛生に関する規定の遵守
- ・ リスクの特定、評価および軽減
- ・ 当社のノウハウを総合的かつ効率的な作業方法に変える規則、基準、手順
- ・ 継続的な改善の考え方

## 目標：

- 全従業員は、当社方針のインパクトを十分に理解し、自分自身、同僚、請負業者、ビジネス・パートナーのために、4つの基本原則を日々の業務において適用する必要があります。
- すべての従業員は、業績を向上させ、行動を変化させる役割を担っています。
- すべてのリーダーは、十分な人的資源を確保し、責任感とコンプライアンス意識を育みます。
- 全従業員がこの考え方を受け入れるには、
- 力強く、明確なコミットメントを示すこと。
- 妥協のない規則遵守。



- 不適切な行動や状況に即座に対処すること。
- 事態を単に修正するのではなく、真に問題を解決するために、積極的に安全に関する議論や対話を行うこと。
- 一貫して優れた実践を評価すること。

## 健康と幸福の重視：

Roquetteでは、従業員の健康と幸福を支援するため、包括的な「ピープルケア・アプローチ」を構築し、展開を開始しています。

このアプローチの4つの柱：

- ケア&サポート：従業員支援プログラム、実践的ガイド&オンライン・ウェビナー、調査、フォーカス・グループなどを通じて実施。
- 共に働く：コミュニケーション上の儀式、コラボレーション・ツール、チームの有効性を高める取り組みなどを通じて実施。
- 仕事と生活のバランス：キャンペーン、健康と幸福イニシアティブ、会議のための共通の社会的ルール、断絶問題などを通して実施。
- 自己省察とケア：自己省察のガイド、神経科学の認識、病気の予防を通して実施。

## 多様性とインクルージョン

Roquetteは、多様性に富んだ会社であり、世界中でさまざまな経歴を持つ従業員が活躍しています。私たちはすべての人の貢献を評価し、すべての人に平等に成功するチャンスを与えるべきだと考えています。

一人ひとりが学習し、成長し、グループ全体の業績に貢献するとともに、それが評価されるような前向きな職場環境を提供することが、当社のような家族経営の企業にとって最優先事項です。私たちはまた、ビジネス上の関係においてもこの考えを推進しています。



### 私たちの考え：

- グローバル企業として、多様性はイノベーションを促し、協働を促進し、業績を向上させ、そして当社の財産となるものです。これは、私たちが事業を展開する地域におけるインテグレーションを促進し、顧客理解を深め、事業の成長と変革をサポートするものです。
- すべての従業員および第三者は、人種、国籍、性別、宗教、年齢、職務経験、政治的見解、障害、能力、病状、性的指向、文化的差異にかかわらず、平等な敬意と尊厳をもって扱われる権利を持っています。
- Roquetteでは、採用、研修、昇進制度は、資格、スキル、実績、業績のみに基づいています。

### 私たちの責任：

- 適用されるすべての雇用法を遵守しなければなりません。
- 信頼とオープンな雰囲気の維持に貢献しなければなりません。
- Roquetteでは、従業員として常にお互いを尊重しながら接する必要があります。

### こんな場合は？

「あなたの部署で、職場で行う仕事の内容は同僚と同じであるにもかかわらず、潜在的または実際の顧客との会合に上級管理職と一緒に招かれるのは、一般的に男性の同僚であることに気づいた場合...。」

Roquetteでは、事業の成長をサポートし、お客様の期待を認識するために、多様性の構築を目指しています。チームメンバーの処遇の違いの一部または全部が、その性別によるものだと感じる場合は、直属の上司に相談してください。問題を上司に提起することに抵抗がある場合は、人事部の担当者に相談するか、秘密厳守の通報システム「スピークアップ」を利用してください。



## いじめおよびハラスメントの禁止

私たちは互いに敬意と尊厳を持って接します。いじめやハラスメントのない職場環境の維持に取り組みます。いじめとハラスメントには、威圧的、攻撃的、敵対的な職場環境を作り出す、あらゆる種類の歓迎されない言語的、視覚的、身体的またはその他の行為が含まれます。



### 私たちの考え：

- すべての従業員は、あらゆる形態のいじめやハラスメントから保護されなければなりません。
- あらゆる形態のいじめやハラスメントの禁止。これには、人種差別、性差別、同性愛嫌悪、セクシャル・ハラスメント、威圧的または脅迫的な行為が含まれますが、これらに限定されません。

### 私たちの責任：

- いじめやハラスメントを禁止する法令を遵守します。
- 私たちは、その行為を中止してほしいと表明した人に対して、いかなる場合にも行為を続けるべきではありません。
- 同僚や取引関係にある人に対するいかなる形態のいじめやハラスメントも容認してはなりません。
- 私たちは、事態や懸念を報告した個人に対する報復を決して容認しません。
- 誰かがいじめやハラスメントを受けていると報告を受けたり、認知した場合は、直属の上司または人事担当者に報告しなければなりません。
- また、コンプライアンス・オフィス、内部監査・リスクマネジメント部門に連絡するか、秘密厳守のRoquette通報システムである「スピークアップ」を利用することもできます。

## どういう意味ですか？

ハラスメントやいじめには、さまざまな形態があります：

- 攻撃的な、品位を傷つける、または性差別的な冗談やコメント
- 暴言または身体的虐待
- 個人情報の不正利用
- 屈辱的、敵対的、威圧的、脅迫的な行動や言動
- 同僚を孤立させたり、同僚がミスを犯すよう仕向けたりすること。



## 仕事と生活のバランス

仕事と私生活の健全なバランスを確立し、維持することは非常に重要です。それは私たちの幸福と、仕事におけるパフォーマンスに貢献します。

Roquetteでは、従業員には、職場外で、個人的なコミットメント、責任、義務があることを認識しています。従業員が職場で目標を達成するために必要な能力を身につけられるようにする一方で、こうした個人的なコミットメントを尊重することを約束します。



### 私たちの考え：

- 会社として、従業員一人ひとりが仕事以外の私生活を充実したものにする権利を考慮し、尊重します。
- 従業員の仕事量が、従業員の生活や個人的な活動に不必要な影響を与えることがあってはなりません。
- 各従業員の仕事と生活のバランスは尊重されなければなりません。

### 私たちの責任：

- 私たち自身の時間管理においては、仕事と個人的な責務の優先順位において健全なバランスを確立し、維持することが望まれます。
- 勤務時間外においては、業務上の連絡に関しては、各自責任を持って対処すべきです。勤務時間外のEメール、電話、テキストメッセージは、緊急時や特別な状況に限ってください。
- Roquetteで、私たちの仕事量が必要以上に多く、私生活に十分な時間を割くことができないと、私たち自身あるいは家族が感じた場合は、直属の上司または人事担当者までご相談ください。

### こんな場合は？

「チームメンバーの中には、別の地域を拠点として働いている者もいます。時差の関係で、夜遅くにメールを受け取ることが多く、中には緊急性の高いものもあります。すぐに返事をしないと、同僚がイライラするのではないかと心配です」

Roquetteは、国際的なチームを擁するグローバル企業であることに誇りを持っています。しかし同時に、社員には仕事と私生活の健全なバランスを保ってほしいと願っています。上記のような場合は、この問題を直属の上司または人事担当者へ提起し、あなたとその同僚にとって納得のいく取り決めを模索する必要があります。



## 企業資産の保護

私たちの資産は、お客様にサービスを提供し、長期にわたって会社を健全に運営するために不可欠なものです。こうした資産を、損失、損害、不正使用または盗難から守るために、注意しなければなりません。

情報通信技術 (ICT) の責任ある使用に関するあなたの権利や義務は、当社グループの各組織に固有の憲章や手続きによって規定され、地域ごとに適用されます。



### 私たちの考え：

- 当社の重要な資産とは：
  - その従業員
  - 材料と無形の資産
  - 財務的資産
  - 機密情報 (ノウハウなど)
  - 生産能力
  - そのイメージと評判
  - ブランド

「サポート」資産 (コンピューター・システムおよびソフトウェア、電話機&スマートフォン、ノートパソコン、事務用機器・備品、社用車、機械および工具など) は、業務用として使用するためにあります。

### 私たちの責任：

- 私たち各自に、その職務機能に応じて、当社の材料や無形の資産の適切な使用と保護に責任があります。
- 電子メッセージングシステムやインターネットなどの ICT ツールは、職業上の目的のみに使用する。個人的な使用は、ごく偶発的で頻繁でなければ承諾することができます。
- システム、IT ネットワーク、当社および顧客または個人の利益を害する方法で情報通信技術 (ICT) を使用しないことを約束します。
- パスワードは厳重に管理しましょう。

### こんな場合は？

- 「私の上司は定期的に私に個人的な頼みごとをします。例えば、家族との夕食のためにレストランを予約するか、個人的な贈り物を買うとか。私は上司のためにそれを行うことに同意しますが、同僚はそれが問題になる可能性があると言いました」

従業員の労働時間は当社の重要な資産のひとつです。上司はこのような仕事をあなたに頼むべきではありません。このような場合は、上司本人に相談してください。気が進まない場合は、人事担当者に問題を提起することもできます。

- 「至急、私用で電話をしたいのですが、スマートフォンが手元にありません。オフィスの電話を使ってもいいですか」

過度でなければ、時折会社の電話を使用することは問題ありません。ただし、まずは直属の上司に確認してください。



## 守秘義務

情報は私たちの最も貴重な資産のひとつです。  
Roquette では、当社であるか他社であるかを問わず、情報の保護に努めています。

それは当社の成功、評判、持続可能性にとって不可欠なものです。

ソーシャルメディアの重要性は高まっており、私たちは利害関係者との関わりにおいて有用なツールになりうると認識しています。しかし、これらのツールを使用する際には注意も必要です。



## 私たちの考え：

- 情報の所有者から事前の承認を得た場合、または法的義務による開示が必要な場合を除き、機密情報をその対象者以外と共有することは禁じられています。
- サプライヤー、顧客およびパートナーから提供された情報は、事前の承認なしに開示してはなりません。
- 機密情報の不正使用や不注意による開示を防ぐため、必要なすべての処置を講じなければなりません。これは、公共の場所での慎重な行動、すべての機密情報の安全な場所での保管、文書やデータの送付、コピーまたは破棄する場合に必要な全ての安全対策の実施を意味します。
- インターネットやソーシャル・メディアを使用する際には、他のビジネス活動で使用されるのと同様の個人的かつプロフェッショナルな基準を適用することが、機密情報を保護するために不可欠です。

## 私たちの責任：

- 機密情報を開示してはなりません。
- 当社とそのパートナーとの間で合意される守秘義務を遵守しなければなりません。
- これは当社を退職した後でも該当するものです。
- 仕事以外の場面でも、私たちは責任を持ってソーシャルメディアと関わらなければなりません：
  - 私たちは、企業情報（例えば、私たちの施設の写真やビデオ）を使用すべきではありません。
  - 仕事上の通信と個人的な通信は常に区別すべきです。
- ソーシャルメディアに時間を費やしても、仕事の妨げにならないように注意しなければなりません。

## どういう意味ですか？

- 機密情報は、以下を含みますが、それに限定されません：
  - 当社やそのパートナーに関連する財務および経済情報。
  - 当社の戦略（プロジェクト、買収、まあいけティングおよび売上予想、購買戦略など）。
  - 生産能力。
  - 製造上の秘密とノウハウ。
  - 研究開発に関連する情報。
  - 顧客、サプライヤー、パートナーに関連する情報。
  - 未公開の特許。
  - 特定のソフトウェア。
  - 社員に関する個人情報。
- ソーシャルメディアには、個人がコンテンツを作成・共有し、コメントを投稿できるあらゆるデジタル・コミュニケーション・チャンネル、つまりソーシャル・ネットワーキング・サイト、ビデオや写真のプラットフォーム、ブログ、フォーラムなどが含まれます。



RELATIONSHIPS



# 2 利害関係者 との関係

における当社の規範

# 人権と労働法

Roquette は責任ある企業として、自社の活動や取引関係を通じて人権を尊重することを約束します。

私たちは、世界人権宣言、国際労働機関（ILO）の基本条約、国連グローバル・コンパクトに定められた原則を遵守します。



## 私たちの考え：

- 強制労働や人身売買など、あらゆる形態の現代型奴隷制は禁止されています。
- ILOの基準で定められた最低年齢以下の児童は、あらゆる形態の労働が禁じられています。
- 集会の自由に対する個人の権利（労働組合、政治的所属など）は尊重されなければなりません。
- 給与は少なくとも法定最低賃金以上でなければなりません。
- 対立状況においては、すべての従業員が公正な弁護を受ける権利を有します。
- サプライヤーは、少なくとも当社と同等の基準を適用すべきです。

## 私たちの責任：

- 適用される労働法規を熟知し、遵守しなければなりません。
- 各個人の基本的権利に反する行為は、直属の上司または人事部に報告してください。

その他の連絡先：

- コンプライアンス・オフィス
- 内部監査&リスクマネジメント部門
- 秘密厳守の Roquette 通報システム：「スピークアップ」

国際労働機関（ILO）は、国際的に認められた人権と労働権を擁護する国連の機関です。ILOは187の加盟国の政府、雇用者、労働者の代表を集めています。同機関は労働基準を設定し、政策を策定、またすべての女性と男性のための適正な労働を促進するプログラムを考案しています。

## こんな場合は？

「私たちのあるサプライヤーが児童労働を行なっているというニュースを見ました。私はこのサプライヤーと直接関与していません。何か発言すべきですか？」

Roquetteでは国際人権基準を尊重し、あらゆる形態の児童労働を拒否しています。私たちは、サプライヤーやパートナーが、当社と同等の基準を適用することを求めます。当社のサプライヤーによる不正行為は、当社の評判に悪影響を及ぼす可能性があります。上記のような状況に直面した場合は、直属の上司または人事担当者にこの情報を伝えてください。



## 公正競争

当社のような企業は、競争に関する厳格な規則の対象となります。こうした規則に従わない場合は、法的、刑事的および金銭的な厳しい制裁をもたらす恐れがあります。

一部の国では、こうした制裁は当社グループの収益の 10% に及ぶ場合があります。



### 私たちの考え：

- 当社製品やサービスの優位性に厳格に基づいた合法的な競争商慣習を行わなければならない。
- 独占禁止法で禁止されている価格操作や市場シェアの取り決めを行ってはいけません。
- 機密のビジネス情報を、とりわけ当社の競合企業と、話し合ったり、交換することは行うことは禁止されています(例えば、価格マージン、販売条件、購入、販売、流通およびマーケティング戦略など)。
- 現地の該当する法令に従わない場合は、会社と関与した個人の両方が訴追される恐れがあります。

### 私たちの責任：

- 当社は、事業を展開するすべての国で、事業および競争に関する規制を遵守する必要があるます。
- 競合他社と接触するたびに、それを文書に記録し、ミーティングが行われた場所と日時、その相手および話し合った内容について、議事録または電子メールにより、速やかにコンプライアンス・オフィスに送付しなければなりません。

覚えておいてください！

- 独占禁止法に関するあらゆる疑問点や懸念事項については、コンプライアンス・オフィスに相談してください。
- 不快に感じる状況や議論については、公に反対を表明し、会議や非公式な集まりから退出しましょう。
- 「沈黙は金なり！」

### こんな場合は？

「新しくはいった同僚は、最近まで、競合他社で働いていました。競合他社の情報を聞いてもいいですか？」

新入社員に競合他社について質問する前に、コンプライアンス・オフィスに相談してください。

その人は、機密情報を口外しないよう法的義務を負っているかもしれません。その場合、あなたは何も質問すべきではありません。



## サプライヤーおよびパートナーとの関係

取引関係を重視し、サプライヤーやビジネスパートナーとの信頼に基づく健全な関係の維持に努めます。

私たちは、製品およびサービスの責任ある調達という理念を大切にしています。



### 私たちの考え：

- サプライヤーやパートナーとのすべての取引関係は、相互の敬意をもって行われなければなりません。
- すべてのサプライヤーおよび契約業者の応募に対して、透明性のある選定および入札プロセスを採用する必要があります。
- すべてのサプライヤーは、その製品やサービスが必ずしも当社の要件を満たさない場合でも、礼儀正しく対応しなければなりません。
- 当社のサプライヤーも、当社のお客様が期待する製品やサービスの品質および革新性を担っています。
- サプライヤーやパートナーの不正行為は、当グループの評判に悪影響を及ぼす可能性があります。

### 私たちの責任：

- 私たちは、この行動規範に定められた価値観の基準に沿って、パートナーやサプライヤーを選定します。
- すべてのサプライヤーとパートナーを尊重し、公正な待遇を行う必要があります。
- サプライヤーやパートナーには、Roquetteの「サプライヤー行動規範」を通じて、行動規則を尊重する必要性を理解してもらわなければなりません。

## どういう意味ですか？

本アプローチの枠組みの中で、私たちは国連グローバル・コンパクトの原則と国際労働機関 (ILO) の条約に基づき、サプライヤーの行動規範を作成しました。

この規範によって、私たちはパートナーと長期的な関係を確立し、持続可能な成長を実現することができます。本規範は、私たち関係者全員にとって、各国で施行されているさまざまな規制、基準、法律を補完するものです。サプライヤーはまた、事業を行っている国の規制、基準、法律を尊重することを誓約しなければなりません。

当グループの各サプライヤーは、この行動規範を遵守し、全従業員に規範について説明し、その原則を確実に学び、尊重することが求められています。



## 不正行為の撲滅

いかなる種類のものであっても不正行為は許されません。不正行為は、会社のみでなく、最終的には株主に損失をもたらし、会社の評価にも影響を及ぼします。

全従業員および Roquette 代理の第三者には、不正行為の防止に取り組む義務があります。



### 私たちの考え：

- 不正および不誠実、違法または非難されるべき行為や行動は固く禁じられています。
- 不正行為に加担した個人または企業は、厳しい行政罰、民事罰、刑事罰が科される可能性があります。
- 経営陣には、不正行為を予防・発見する責務があります。

### 私たちの責任：

- 私たちは、会社の方針と手順を遵守する必要があります。
- 私たちはお客様に、製品に関する正確な情報を提供しなければなりません。
- 私たちは、不正の疑いや発生を直属の上司、コンプライアンス・オフィス、内部監査・リスクマネジメント部門、または秘密厳守の Roquette 通報システム「スピークアップ」に報告しなければなりません。

## どういう意味ですか？

不正行為には以下のようなものが含まれますが、これらに限定されません：

- Roquetteの現金または財産の物理的な窃盗
- 製品の特性または特徴に関する虚偽の情報
- 領収書または経費報告書の改ざん
- 金融口座の偽造または改ざん
- 資金、債券、その他の資産の横領
- マネーロンダリング
- 横領
- サプライヤーに過剰に支払う見返りに個人的なリベートを貰うこと
- 社外の利害関係者への機密情報の漏えい
- 贈収賄および汚職
- 利益相反
- Roquetteの製品または設備の不適切な使用
- 記録の破棄または削除
- その他、同等または関連する違法行為



## 賄賂防止と腐敗防止

Roquette では、公私を問わず、あらゆる形態の汚職や利益供与を撲滅するために全力で取り組んでいます。会社、従業員、または Roquette のために行動する第三者は、賄賂を提供または承諾した場合、または賄賂から利益を得たことが判明した場合、厳しい行政罰、民事罰、刑事罰を受ける可能性があります。

贈収賄と汚職に関するゼロトレランス（厳格な非許容）ポリシーを遵守することは、適用される法律に沿うだけでなく、当社の評判を保護し、当社の慣行に対する利害関係者の信頼を高めます。



### 私たちの考え：

- 贈収賄と汚職は、不適切な利益を得るため、または意思決定に影響を与える目的で、直接的または間接的に、価値のあるものを約束、提供、贈与、受領、受領への同意、および同意することからなります。
- 円滑化のための支払いは、支払者が法的に受ける権利を有するサービスを円滑化するために行われる支払いで、贈収賄の一形態であり、禁止されています。
- スポンサー契約は、事業活動の結果に不当な影響を与える、あるいは贈賄または汚職を隠ぺいするために使用してはいけません。
- 行動規範および贈収賄・汚職防止に関する Roquette の指示に違反した従業員は、適用される法律および Roquette の社内規則に従い、懲戒処分の対象となります。

### 私たちの責任：

- 私たちは、民間部門や公的機関の関係者に対し、直接または仲介者を通じて、いかなる形の金額であれ、賄賂を申し出たり、約束したり、贈ったりしてはなりません。
- 私たちは、民間企業や公務員の誰かから、直接、または仲介者を通じて、金額の如何を問わず、いかなる形態の贈賄も受けたり同意したりしてはなりません。
- もし私たちが手続き円滑化のための支払いを要求された場合、私たちはそれを拒否し、直属の上司、コンプライアンス・オフィス、または内部監査・リスクマネジメント部門に報告しなければなりません。

#### 手続き円滑化のための支払い

手続き円滑化のための支払とは、公務員による日常的または必要な行為（許可証の発行や税関で保管されている物品の引き渡しなど）を保証または円滑化するために行われる非公式の支払のことで、

## こういう場合どうしますか？

職務遂行の過程で起こりうる危険信号の例：

- ビジネスパートナーが賄賂を支払っているという評判や、公務員と「特別な関係」を持っているという評判があることが判明した場合
- パートナーから、友人や親族に雇用やその他の便宜を図るよう要請された場合
- 提供されたとされるサービスからすると高額と思われる手数料や料金の請求書が発行されていることに気づいた場合
- サプライヤーから異常に気前がよい贈り物を提供されたり、贅沢なもてなしを受けたりした場合

これらまたは同様の状況に直面した場合は、直属の上司またはコンプライアンス・オフィスに速やかに報告してください。



## 利益相反の防止

Roquette では、会社にとって最も利益となる決断を下します。利益相反は、個人的な利害が職務上の義務や Roquette の利益と相反する、または相反するように見えるあらゆる状況から発生する可能性があります。利益相反のように見える状況、または実際に利益相反がある場合、会社の評判を損なう可能性があります。



### 私たちの考え：

- 利益相反は、直属の上司または人事担当者に速やかに報告し、適切に対処することで、回避または是正することができます。
- 個人の利益が会社の利益と衝突するような状況は常に避けなければなりません。
- 経営陣は、表明された利益相反が効果的に処理されるようにしなければなりません。

### 私たちの責任：

- 私たちの意思決定と行動が会社の利益と一致し、個人的な利益によって影響されないようにしなければなりません。
- Roquette では、新しく入社または役職を変更する場合、従業員、サプライヤー、顧客、仲介者、公務員など、会社と協働するすべての個人的利害関係を表明する必要があります。

- Roquette のために行動する第三者は、Roquette と取引関係を結ぶ前に、利益相反を報告する必要があります。
- 雇用後または Roquette との取引関係の開始後はいつでも、潜在的または実際の利益相反を報告しなければなりません。

### クイックテスト

利益相反の可能性はありますか？

- 誰かに義理立てすることになりませんか？
- 職業上の判断が脅かされる可能性がありますか？
- 職業上の判断が危険にさらされているように見える可能性はありますか？

これらの質問のいずれかに「はい」と答えた場合、利益相反の可能性があります。直属の上司、人事担当者、またはコンプライアンス・オフィスに相談してください。

## こんな場合は？

潜在的な利益の衝突につながる状況の例を以下にいくつか紹介します。ただし状況はこれに限定されません。

- 従業員の直属の上司が家族の友人
- 従業員がサプライヤーの友人であり、Roquette でサプライヤー担当の仕事をしている
- 従業員が Roquette の販売業者の株式を保有している
- Roquette のために活動する第三者が、同社に許可またはライセンスを発行する公務員と関係がある



## 贈答と接待

贈答品やもてなしを受けたり、提供したりすることは、慣習的なビジネス上の礼儀であり、職場の人間関係を良好にするものです。しかし、それが私たちのビジネス上の意思決定に影響を及ぼすことがあってはなりません。Roquetteでは、ビジネス上の意思決定に不適切な影響を与えるための贈答品や接待の申し出、勧誘、または承諾を容認しません。

不適切な行為と見なされないよう、適切な判断力と節度を持った行動が求められます。



### 私たちの考え：

- 贈答品や接待を承諾したり提供したりすることは、受益者の意思決定に影響を与えようとする行為と見なされがちです。
- 贈り物や接待の価値、頻度、タイミングは重要な考慮事項となります。
- 顧客やサプライヤーからの贈答品や接待は、頻繁でなく、適度な金額のものに限り許可されません。

### 私たちの責任：

- 私たちは、顧客やサプライヤーへの贈り物や接待の申し出や受領が、Roquetteの贈り物および接待に関する規定に定められた範囲内であることを確認しなければなりません。
- 私たちは、Roquetteの贈答・接待に関する規定に定められた限度を超える贈答品や接待を申し出たり同意したりする前に、適切な事前承認を得て、記録を残さなければなりません。
- 私たちは、競合他社や公務員に贈答品や接待を申し出たり、承諾したり、勧誘したりしてはいけません。
- 私たちは、顧客や供給業者との交渉、販売、入札プロセスにおいて、贈答品や接待を申し出たり、受けたり、求めたりしてはいけません。
- 私たちは、現金または現金相当の贈答品を決して申し出たり、受け取ったり、勧誘してはなりません。
- 疑問がある場合は、直属の上司、人事担当者、またはコンプライアンス・オフィスに問い合わせてください。

### こんな場合は？

- 「サプライヤーからのビジネス上の食事への招待を承諾することはできますか？」  
たいていの場合、適度で頻繁でない業務上の食事は同意してもかまいません。しかし、サプライヤーが食事代を支払う場合は常に、具体的な状況と、あなたの公平性が損なわれたり、損なわれているように周囲に見えたりしないかどうかを考慮してください。契約交渉中に食事が提供された場合は、常に丁重にお断りしなければなりません。
- 「どのような贈答品が控えめな金額とみなされますか？」  
ペン、ノート、Tシャツ、帽子、ブランドの宣伝用品の入った社用バッグなど、頻繁に贈られない贈り物は、一般的に価値が適度であるとみなされません。



## 財務諸表および財務報告書の正確

### さ

当社の財務諸表および財務報告は、国際財務報告基準（IFRS）に準拠し、当社の事業活動を正確に反映したものであることが不可欠です。

正確で信頼性の高い財務報告は、会社の完全性を保証し、現在および将来の業績を監視し、適切な戦略的意思決定（投資、ポートフォリオ管理など）を下し、会社の財務構造を最適化するための重要なポイントになります。



### 私たちの考え：

- 株主および金融業界の代表者とのコミュニケーションは、定期的かつ的確でなければなりません。
- 当社およびその各子会社の会計上、決算、財務諸表は、Roquetteが実施する業務を正確に反映したものでなければなりません。
- 会計上は、適用される法的要件、グループ報告ガイドンス、一般に公正妥当と認められた会計原則、および会社の内部コントロール基準に準拠していなければなりません。
- 内部および外部監査と同様に、内部コントロールが会計の正確性を保証しています。

- 財務諸表と財務報告の信頼性と正確性が、すべての利害関係者にとって重要です。
- マネーロンダリングのリスクに常に注意を払い、疑いがあれば報告することは、私たち一人ひとりの義務です。

### 私たちの責任：

- 私たちは、会計・財務諸表の計上・公表および財務報告に関連する社内規定およびその他の規制を遵守します。
- 私たちは、真実で信頼できる正確な財務諸表と財務報告を作成し、公表することを約束します。
- マネーロンダリングのリスクに対する警戒を怠りません。 疑わしい財務活動に気づいた場合は、直属の上司、コンプライアンス・オフィス、内部監査・リスクマネジメント部門、または秘密厳守のRoquette通報システム「スピークアップ」に報告しなければなりません。

## こんな場合は？

「私は財務部では働いていません。財務報告の正確性は私の責任ですか」

はい、財務報告の正確さは私たち全員が共有する責任です。経費報告書からサプライヤーからの請求書に至るまで、すべての取引が正確かつ完全に、適切に記録されていることを確認しなければなりません。



# インサイダー取引および内部情報漏洩の禁止

市場での株式（\*）の売買を目的として、非公開情報を使用する、または他者と共有することは禁止されています。



## 問題とされる行動は？：

- 取引（直接取引または仲介者による間接取引のいずれも含まれます）：**Roquette**およびその全ての顧客、サプライヤー、パートナーが発行する株式を、非公開情報を使用して売買すること
- 情報漏洩：家族、友人を含む他者に未公開情報を漏洩し、他者がその未公開情報を使用して、公開株を取引すること。例え情報を漏洩した本人または情報を使用した他者が結果として利益を得ることが無くとも、情報漏洩は禁止されています。

## 問題とされる行動の代償は？

- 当社就業規則による懲戒処分
- 金融監督当局による、民事および刑事における厳罰

（\*）株式および公募証券：金融証券、株式、債券、投資契約、デリバティブを含みます。

## 非公開情報とは？

- 企業の株式売買または保持において、通常人が重要であると見做すあらゆる内部非公開情報
- 例えば、下記の情報は漏洩または使用されてはなりません：非公開利益または財務予測、買収または売却、パートナーシップまたは共同開発プロジェクト、R&Dの発見、経営陣の変更、新規製品ライン、主要顧客またはサプライヤーの喪失、係争中の訴訟または規制措置
- Roquette**（**Roquette**のパートナーまたはアドバイザーも含まれます）に勤務する全ての人間は、**Roquette**およびそのサプライヤー、顧客、パートナーに関する機密情報を保持する義務を負っています（「守秘義務」の項目参照）。例：サプライヤー/顧客と交渉中に知り得た全ての情報

## 注意しましょう！

非公開情報の漏洩は下記の状況で起こり得ます：

- フォーマルなミーティングの最中
- 同僚とのインフォーマルなディスカッションの最中
- 業務時間外
- 展示会における交流イベントの最中
- 家族/プライベートな集まり
- 様々な手段：例) WhatsAppのグループディスカッション、LinkedInへの投稿

疑わしい場合は、法務部に連絡して下さい。 [compliance@roquette.com](mailto:compliance@roquette.com)



# プライバシーとデータの保護

すべての Roquette 従業員および第三者はプライバシーの権利を有します。Roquette では、従業員、ビジネスパートナー、その他の利害関係者の機密情報を尊重し、個人情報を保護することを徹底しています。

プライバシーおよび個人情報に関する法律は国によって異なるため、また Roquette では国際的に事業を展開していることから、当グループでは個人情報保護に関するグループポリシーを採用しています。この方針はすべての人に適用されます。



## 私たちの考え：

- 各人は、自分の個人データの収集、処理、使用および配布について管理する権利を有します。
- 個人データは、特定の、明示的かつ合法的な目的のために、公正な方法で使用され、処理の実行に必要な期間のみ保管されなければなりません。
- 各個人には、自分の個人データが収集されていること、それがどのように使用されるのか、そして問い合わせ先が誰であるのかを通知しなければなりません。
- Roquette では、適用される法律または規則により要求されない限り、個人データを第三者に伝達することはありません。

## 私たちの責任：

- 私たちは、同僚のプライバシーの権利を尊重しなければなりません。
- 私たちは、ビジネスパートナーの情報の機密性を確保しなければなりません。
- 私たちは、Roquette のデータ保護方針および適用法に従って、同僚の個人情報およびビジネスパートナーのデータを収集、使用、処理、転送、保存しなければなりません。
- 私たちは、「プライバシーおよびデータ保護に関する行動規範」を読み、理解しなければなりません。



[www.roquette.com/Data-Protection](http://www.roquette.com/Data-Protection) で利用可能

ご質問がある場合は、データ保護オフィサー ([dpo@roquette.com](mailto:dpo@roquette.com)) にお問い合わせください。

「**個人情報**」とは、**識別された、または識別可能な自然人に関するあらゆる情報を意味します**。特定可能な自然人とは、直接または間接的に、特に、氏名、識別番号、位置情報、オンライン識別子などの識別子、またはその自然人の身体的、生理的、遺伝的、精神的、経済的、文化的、社会的アイデンティティに固有の1つ以上の要素（氏名、生年月日、社会保障番号、写真、電子メールアドレス、コンピュータIDなど）を参照して特定できる自然人を指します。

## すべきこと / してはいけないこと

### すべきこと

- 合法的な事業目的のために必要な個人データを収集すること、または有用でなくなった個人データをアーカイブまたは削除すること。
- 個人データを含む文書を、権限を与えられた第三者に転送する際のパスワード保護または暗号化
- デスクから離れているときはコンピュータをロックし、要求されたらパスワードを変更してください
- 個人情報を含む文書を安全に廃棄
- ファイル解凍の回数を制限

### してはいけないこと

- 将来、別のプロジェクトで必要になるかもしれないと考え、個人データを保管すること
- 個人データを権限のない人に開示したり、機密文書をパスワードなしで電子メールで送信したりすること
- 個人データをプリンターや共有サーバーに残す
- 個人所有のデバイス（携帯電話、ノートパソコン）に業務上の文書を保存したり、転送したりすること
- アプリのパスワードを共有すること



権利を行使するには[www.roquette.com/data-protection](http://www.roquette.com/data-protection)の「情報主体に関する要求のウェブフォーム」に記入してください。

## スピークアップ、誠実な行動

不適切な行為を目撃した場合、あるいはそう  
思われる場合、あるいは何らかの懸念がある  
場合は、その旨を伝える必要があります：

### スピークアップ！

これは、同僚やパートナーとの信頼関係を維持するた  
めに不可欠です。スピークアップ®は、Roquetteが採  
用した業務用警報システムです。ONE、ウェブサイ  
ト、そして業務用携帯電話にインストールされたイン  
ターフェースからご覧いただけます。



### 私たちの考え：

- 行動規範、社内規定、適用される法律に違反する状況や違反の疑いがある場合は、その事実の有無にかかわらず報告しなければなりません。
- 会社に所属する者（従業員、インターン、派遣社員、その他会社内に出向しているスタッフ）だけでなく、社外の臨時の協力者（サプライヤー、下請け業者、サービスプロバイダー、「フリーランス」）も同様に、通報を報告することができます。
- スピークアップ®は、上司や人事部門に懸念を打ち明けにくい場合、またはすでに懸念を打ち明けたが適切な対応がなされないと思われる場合に、異常事態を報告するための最後の手段です。
- <https://roquette.speakup.report/fr-FR/RoquetteSpeakUpline/home>

詳細については、ONEのスピークアップ・ページにある「内部通報者の手引き」をご覧ください。



### 私たちの責任：

- 通報が提出されてから72時間以内に、通報者に受理確認が送付されます。
- 内部通報者は適用法に従い、身元および個人情報に関して機密扱いを受けます。
- Roquetteは、行動規範または適用法に対する違反が立証されたまたは疑われる行為を、誠意を持って報告した従業員やRoquetteのために行動する第三者に対するいかなる形態の報復も容認しません。

### 知っておくべきこと

- 内部通報者は自然人でなければなりません。
- 内部通報者が事実を個人的に知っていること。
- 誠実な通報であること。
- 内部通報者は通報によって利益を得ていない、利害関係のない方法で行動しなければなりません。内部通報者は、個人的な不満や危害を加える意図に駆られていないこと。
- 通報は深刻な事実に関するものでなければなりません。

故意に、または明らかに過失があることを承知の上で、虚偽の陳述、誤解を招く情報の開示、悪意ある行為、または虐待的な行為を行った内部通報者は、適用される法規制に従って、懲戒処分または起訴の対象となる場合があります。逆に、誠意をもって行動する従業員は、申し立てられた事実が不正確であると証明された場合でも、または措置がとられなかった場合でも、懲戒処分や起訴の対象となることはありません。





当社の規範

# 3 企業市民として の責任

## 政治活動とロビー活動

Roquette では、政党、公職の保有者または候補者、国会議員またはその代理人、その他の政治団体、政治活動を行うその他の団体（特定の非政府組織など）に対して、資金提供やサービスを提供していません。私たちは、Roquette を代表する立場でない限り、各個人が政治的プロセスに貢献したり、政治活動に従事したりする権利を尊重します。



### 私たちの考え：

- Roquette では、直接・間接を問わず、いかなる政治献金も行っておりません。
- 政党の会員になることは自由であり、政治献金をすることもできます。ただし、この活動は、就業時間外に行う個人的かつ私的なものであり、利益相反やロビー活動と解釈されるような事態につながる可能性がない場合に限りです。
- 個人的な政治的意見や献金は、いかなる場合においても、直接的または間接的に会社を反映していると思われるものであってはなりません。
- 政治的に関わりのある人物は、慎重に管理された条件下でのみ Roquette で働くことができます。

### 私たちの責任：

- 私たちは、公務員との間に潜在的または実際の利益相反がある場合には、それを開示することが義務付けられています。
- 会社を代表して、またはRoquetteでの活動の一環として、直接的または間接的に政治献金を行なってはなりません。

### こんな場合は？

「兄が地方選挙の候補者で、選挙運動を手伝いたいのですが。可能ですか？」

政治活動は個人の問題です。ただし、このキャンペーンにRoquetteのリソースを使用することは避けてください。例えば、グループ名や業務用のEメールアドレスを使用することはできませんし、勤務時間中にこのキャンペーンに時間を費やしてはいけません。



## 地域社会

Roquette の持続可能性アプローチは「調達」「革新」「バイオリファイニング」「行動」の4つの柱に基づいています。それぞれの柱は、幾つかのコミットメントを基盤にしています。このコミットメントのひとつは、持続可能な関係を通じて地域社会とパートナーシップを結び、地域社会の発展に貢献することです。

当グループは毎年、数多くのコミュニティ・プロジェクトや活動を支援することで、このコミットメントを実践しています。

2017年11月、Roquette は、健康のためのRoquette 財団を立ち上げました。

当財団の使命は、食品と栄養の分野における画期的な、あるいは教育的な地域社会事業を支援することです。



### 私たちの考え：

- 私たちが事業を展開する地域社会は、会社にとって直接的な利害関係者です。私たちは、地域の人々の発展と幸福に持続的に貢献しなければなりません。
- Roquette の従業員が、当グループが事業を行っている、または Roquette 財団が関与しているコミュニティのメンバーに対して不正行為を行った場合、会社にとって重要な信用問題および法的問題となります。

### 私たちの責任：

- 従業員は、当グループが事業を展開している地域社会の人々に敬意をもって接しなければなりません。
- Roquette と健康のためのRoquette財団による地域社会との活動に加え、私たちはすべての従業員が自発的に地域社会とのプロジェクトに参加することを奨励しています。
- もし、Roquetteの従業員が、当グループが事業を行っているコミュニティ、またはRoquette財団が支援を行っているコミュニティのメンバーに対して不正行為を行ったと認識した場合、直属の上司、コンプライアンス・オフィス、内部監査&リスクマネジメント部門、またはRoquetteの機密通報システム「スピークアップ」に直ちに報告しなければなりません。

## Roquette財団とは？

健康のためのRoquette 財団は、食品、栄養、健康の分野に特化した財団です。Roquette 財団の組織と予算は、会社とは別個のものです。Roquette の持続可能な開発アプローチに沿ったものとなっています。当財団は、以下のような様々なプロジェクトに対して支援を行っています：

- 食品に対する意識を高めるためのプログラム
- 食品が疾病に及ぼす影響に関する研究
- 健康に役立つ持続可能なプロジェクト



## 環境の保護

環境の保護と天然資源の保全は、Roquetteの事業における優先事項です。地球を保護することが全員の大切な課題であるという信念のもと、当社は環境への影響を最小限に抑えるよう日々努力しています。

環境保護に関して適用される規制や企業手続きを遵守することで、この環境方針をサポートすることは、それぞれの役割を担う私たち全員の責務です。



### 私たちの考え：

- 私たちが環境に及ぼす影響を最小限に抑制することは、当社の持続可能性にとって重要です。
- 効果的な環境対策が、事業コストの削減に寄与します(水、エネルギー、CO2排出量など)
- 環境を保護しようとすることは、当社と社員の責任です。
- 責任ある企業であることは、ポジティブな企業イメージの創出やビジネスチャンスの提供にもつながります。

### 私たちの責任：

- 規制を遵守し、その進化を注視します。
- 可能な限り、環境（水、CO2排出量など）を保全する技術を選択します。

- 私たちは環境要因をコントロールします。
- 活動によって生じる廃棄物を制限し、リサイクルします。
- 大きなリスクを緩和する。
- 恒久的な行動を通じて従業員全体を動員し、彼らの意識を高め、教育します。
- 経済、社会、および環境レポートを毎年発行します。

Roquetteでは毎年、活動報告書および持続可能な開発報告書を発行しています。この報告書には、環境への影響を最小限に抑えるための取り組みに関する情報が記載されています。最新の報告書はONEポータルおよびコーポレートウェブサイト ([www.roquette.com](http://www.roquette.com)) でご覧いただけます

## 当社の根本倫理:

- 私たちは水資源を無駄にしません。
- エネルギーを節約します。
- 廃棄物を分別します。
- 事故があれば報告します。



## 国際販売と貿易

輸入または輸出された製品、材料、技術の販売は、特定の規制の対象となります。Roquette では、国際貿易に適用されるあらゆる規則を遵守し、国連および欧州連合の貿易制裁および禁輸を含む、当社の価値観および適用基準に沿って、販売先を監視するための内部統制を実施しています。



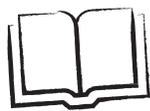
### 私たちの考え：

- 当社は、お客様に提供する製品の完全性と情報の正確性について責任を負います。
- 事業規則に従わない場合、会社の評判が著しく低下する可能性があります。
- 誠実な貿易慣行は、取引先との持続可能な協力関係を保証します。
- ボイコットや禁輸は、その国の事業体に対する製品やサービスの販売を禁止することができます。

### 私たちの責任：

- 適用されるすべての税関規制を遵守しなければなりません。
- 当社製品の品質と完全性を維持するために、予防措置を実施すべきです。
- ボイコットや禁輸措置がとられた場合、私たちは関連国に必要な認可やライセンスを要求することを約束します。

# 参考資料



- 活動と持続可能な開発報告書
- Roquette の内部統制基準 (BRICS) 文書
- 安全のための原則と原理
- 贈収賄防止および汚職防止方針
- サプライヤー行動規範
- 購買の基本方針
- 競争に関する方針
- プライバシーとデータ保護に関する行動規範
- デジタルツール使用憲章
- グローバルセキュリティポリシー
- 業務出張セキュリティポリシー
- 環境ポリシー

## ご質問やご不明な点はありませんか？

直属の上司または人事部に遠慮なく相談してください。



その他の連絡先：

- コンプライアンス・オフィス
- 内部監査&リスクマネジメント部門
- 秘密厳守の Roquette 通報システム：「[スピークアップ](#)」

この行動規範は英語版が基準となります。この文書の翻訳には一定の解釈が必要な場合があります。

初版：2015年11月 第2版：2019年1月

第3版：2021年3月

第4版 2024年8月

出版：ROQUETTE FRERES

編集デザイン&グラフィック：Agence Bergamote 写真：iStock



**ROQUETTE**

*Offering the best of nature<sup>®</sup>*